**一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会 講演と座談**

**こどもと家庭をまもる－メンタルヘルスは何ができるか**

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進し ていくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5 年4月に施行されました。 誰もがこども時代を経験して大人になります。こどもと家庭を守る ことはメンタルヘルスの重要課題です。 一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会は、各都道府県等の精神 保健福祉協会の連携を図るとともに、メンタルヘルスの啓発に取り 組んでいます。 2025年度は「こどもと家庭をまもる－メンタルヘルスは何ができる か」をテーマに、基調講演と2つの講演、さらに座談を行います。 ぜひご視聴ください。

令和7年 7月18日(金)14:00-17:00

Zoomウェビナー

主催：一般社団法人全国精神保健福祉協議会

協力：一般社団法人TICC （こころのケガを癒やすコミュニティ事業）

お問合せ：シンポジウム事務局（一般社団法人TICC内）

jtraumainformed@gmail.com <TEL:080-8921-4685>

申込締切 7月14日(月)正午

申込はこちら <https://forms.gle/52SyqQoate7zfJuz5>

こどもと家庭をまもる－メンタルヘルスは何ができるか

14：00開会のあいさつ 竹島正一般社団法人全国精神保健福祉協議会会長

**第 1 部**

**14：10基調講演 こどもと家庭をまもる－こども家庭庁の考えていること**

**山下護**こども家庭庁支援局総務課長

1997年厚生省入省。2024年7月から、こども家庭庁支援局総務課長兼自殺対策室長。 これまで、年金制度や健康保険制度の改革に従事。 2008年から在タイ日本国大使館一等書記官。2016年からモンゴル国社会保険庁政策 顧問。

**14：40休憩**

**第 2 部**

1**4：50メンタルヘルスは何ができるか－大学精神医学講座の取り組み**

**根本隆洋**東邦大学医学部精神神経医学講座・社会実装精神医学講座教授

1995年慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院精神・神経科、国立千葉病院 神経科、厚生協会大泉病院勤務を経て、2004年慶應義塾大学助教。2008-2009年 Geffen School of Medicine at UCLA客員研究員。2009年東邦大学医学部精神神経 医学講座准教授、2021年同講座教授、2023年社会実装精神医学講座併任。日本精 神保健・予防学会理事長、日本社会精神医学会理事、日本精神神経学会代議員、 IEPA Early Intervention in Mental Health, Executive Group Member。専門は社会 精神医学、予防精神医学、認知神経科学。

**15：20メンタルヘルスは何ができるか－トラウマインフォームドな取り組み**

**大岡由佳**武庫川女子大学心理・社会福祉学部教授

関西大学社会学部卒業後、民間精神科病院勤務を経て2003年より久留米大学医学部 精神神経科学教室において精神保健福祉士として勤務。帝塚山大学心理福祉学部の 助手、講師を務めた後、2010年より武庫川女子大学に着任し、現在に至る。ポート ランド州立大学地域研究所（TIO：Trauma Informed Oregon）招聘研究員。専門は 精神保健福祉学。一般社団法人TICC（こころのケガを癒やすコミュニティ事業） 共同代表。

**15：50座談　 座長　竹島正**

**［指定討論］髙瀨顕功**大正大学地域創生学部公共政策学科准教授

1982年生まれ。大正大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。 ペンシルベニア大学客員研究員、上智大学グリーフケア研究所研究員を経て現職。 専門は宗教社会学。宗教者の社会参加に関心をもち、高齢者ケアにおける宗教者 の関与の可能性、地域資源としての寺社・教会の役割などを研究する。東京山谷 の生活困窮者支援団体「ひとさじの会」の代表として実践にもかかわる

**16：50　閉会のあいさつ　竹島正**